

研究構想シート		学校名	江津市立江東中学校
		氏名	大塚 裕子
A 研究主題 学ぶ意義を実感し、ねばり強く理解を深める生徒の育成 ～ 「わかる！」授業の工夫を通して ～			
B 研究の目的 学力向上推進部や教職員で話し合い、目指す生徒像や共通してねらいにせまる手立てや取組を共通理解し、学校教育目標の実現を目指す。			
C 子どもの実態 【生徒の実態（強み○、弱み△）】 ○課題に真面目に取り組むことができる。 ○グループ学習に進んで参加し、自分の意見を伝えることができる。 △学力調査では、2年生は全教科において全国・県平均を下回った。 △家庭学習の時間が短い。 △難易度の高い課題に対して、じっくり取り組むことが苦手である。	E 手立て・内容（研究仮説）		D めざす子どもの姿 【学校教育目標・目指す生徒像】 ・学校教育目標 「挑戦と協働 ～つながりを大切にしながら、心豊かに、新しい時代を拓く生徒の育成～」 ・目指す生徒像 自主「よく考え、自分からものごとに取り組む生徒」（学力） 連帯「認め合い、つながり合っ て、共に伸びる生徒」（人間力） 創造「よりよい生活を創り出そうと行動する生徒」（社会力） 【具体的な姿】 ・難しい課題にもねばり強く取り組み、自ら解決を目指して工夫することができる。 ・ICTを活用し、【個別作業で学んだことや表現したことを、「協働的な学び」でさらに深め、深めたことを「個別最適な学び」で追求する】学びを自ら創ることができる。 ・振り返りから自らの成果や課題を見つけ、次の学習に生かそうとする態度や、課題を克服する資質・能力を高めようとしている。
	F 検証方法		
	G 研究計画		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「授業3ステップ」の共有や課題解決学習の工夫、相互閲覧できる振り返りシートの工夫等により、自身の学びの深まりや変容を多角的に自覚でき、学習意欲に繋がっていこう。 ・ICTを活用した協働的な学習課題の設定により、学習が苦手な生徒たちの学ぶ意欲は向上し、学力の向上にも繋がっていこう。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記述を見取る。 ・授業態度やワークシートや定期テストの取り組み方を見取る。 ・ICT活用と学習への関わり方への態度の関係を分析する。 ・学力調査の結果を分析する。 	
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度の見取り（授業の様子・県学調） 2. 学力向上推進部会（通年） 3. 研修職員会（今年度の見通し・ICT活用） 4. 授業3ステップを意識した授業実践 5. ICTを活用した協働的な学びの授業実践 6. 研修職員会（授業実践振り返り・生徒の授業評価） 7. 改善した授業実践（通年） 8. 県学調、結果分析 9. 考察、成果と課題、来年度への見通し 	